

| | | | | | | | | |
|---------|--|--|------------------|---------------------|---------------|--------------------------------|--------|--|
| 実施計画事業名 | | イベント開催事業 | | | 評価対象年度 | 平成 23 年度 | | |
| 評価担当部署 | | 建設産業部 観光交流課 | | | 課長(主幹)名 | 齊藤 正良 | | |
| 総合計画体系 | 分野 | 5 | 産業振興 | | | | | |
| | 政策 | 4 | 地域資源の再発見・世界への発信 | | | | | |
| | 施策 | 1 | 観光を核とした産業振興を図ります | | | | | |
| | 関連施策 | | | | | | | |
| 現状と課題 | 夏季と冬季に、それぞれ全市的なイベントを実施して来たが、一部事業のマンネリ化もみられることから、イベント内容の見直しを進めるなど、内容の充実を図っていく必要がある。 | | | | | | | |
| 目的 | 観光客の誘致を図るとともに、イベントを通じ、市民や観光客を対象に稚内市の自然や歴史についての情報発信を行い、観光地としての魅力を高める。 | | | | | | | |
| 施策展開の | ①稚内市の夏の一大イベントとして、花火大会、北海てっぺん踊り、観光物産まつりを実施する。 ②全国最大規模の犬ぞり大会を開催し、同時に冬のわっかない観光物産まつりを行う。 ③南極ハイランドの位置付けを整理して実施していく。 上記のほか、冬季観光の魅力を高めるため、新たな冬のロングランイベントを創出していく。 | | | | | | | |
| 成果指標 | 名称 | | 単位 | | 22 年度 | 23 年度 | 25 年度 | |
| | イベント(3イベント)動員数 | | 人 | 目標 | 63,000 | 63,500 | 64,500 | |
| 説明 | | | | 実績 | 64,921 | 67,135 | | |
| 活動指標 | 名称 | | 単位 | | 22 年度 | 23 年度 | 25 年度 | |
| | 稚内みなと南極まつり参加人数 | | 人 | 目標 | 47,400 | 47,800 | 48,600 | |
| | 説明 | ①北海てっぺん踊り、②わっかない観光物産まつり、③花火大会の合計来場者数 ()内は協賛事業で外数 | | 実績 | 49,953 | 44,135 | | |
| | 全国犬ぞり稚内大会観客数 | | 人 | 目標 | 10,100 | 10,200 | 10,400 | |
| | 説明 | 開催期間中の延べ観客数 | | 実績 | 11,500 | 10,000 | | |
| | 南極ハイランド来場者数 | | 人 | 目標 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | |
| | 説明 | 開催期間中の延べ来場者数 | | 実績 | 8,468 | 13,000 | | |
| | 説明 | | | 目標 | - | - | - | |
| 事業費の実績 | | 単位 | 22 年度 (決算) | 23 年度 (評価年度決算見込) | 24 年度 (予算) | 備考 | | |
| | 直接事業費(A) | 千円 | 27,721 | 25,966 | 26,355 | 南極ハイランド・全国犬ぞり大会については、6月以降に補正予定 | | |
| | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 道支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 起債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | その他 | 千円 | 0 | 3,000 | 0 | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 27,721 | 22,966 | 26,355 | | | |
| | この事業にかかる職員数 | 人/年 | 1.66 | 1.37 | 1.37 | | | |
| | 人件費(B) | 千円 | 11,273 | 9,527 | 9,527 | | | |
| | 計(A+B) | 千円 | 38,994 | 35,493 | 35,882 | | | |
| 状況変化 | 実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成21年度に空港公園から北埠頭緑地公園へ会場を移転。 平成22年度に南極ハイランドとJC主催の「みんなにこにこみなみまつり」を同会場で2週に渡って会場造成等で連携実施 | | | | | | | |

【1次評価】

| | |
|--|--|
| 成 果 | 成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) |
| | a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 本年度の冬イベントの来場者数は天気に左右され、増減の激しい年度となった。みなと南極まつりについては、昨年度第50回のメモリアルイベント時よりは減少した。ただ、50回記念大会前の49回大会に比べると大幅に参加者が増えており、ほぼ目標達成といえる。 |
| 細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方 | 細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか |
| | a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 問題はないが、犬ぞり大会については次年度が30回という節目の大会となり、同実行委員会内で内容について検討されることとなっている。 |
| 各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか | a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 |
| | <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 南極ハイランドについては、稚内青年会議所との連携が平成22年度から行っており、今後は更なる連携の強化をして市民に喜ばれるイベントにしていく必要がある。 |
| コ ス ト 効 率 | 無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか |
| | a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| 総 合 評 価 | A 概ね問題なし |
| | <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 昨年度より同会場で行われることになった「みなみなまつり」(青年会議所主催)と連携実施した結果動員数の増加につながっている。各イベントは、市民の夏・冬まつりとしての基本コンセプトを意識しながら進めた効果が出てきたと考える。今後も各団体と連携しながら、コンセプトが尚一層高まるよう工夫しながら進めていく。 |

【2次評価】

| | | | | | | | |
|------------------|--|--------|----------|---------|----------|-------|----------|
| 成 果 | a | 細事業の構成 | a | 細事業の進め方 | a | コスト効率 | a |
| 総 合 評 価 | A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。 | | | | | | |

【内部評価委員会】

| | |
|--------|--|
| 意 見 | |
|--------|--|